

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.89



復興まちづくりを推進する新たな体制がスタートしました

市では、令和2年7月豪雨災害で特に被害が大きかった「まちなか」（中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区）において、地区を横断したまちづくりのため、「人吉市まちなかグランドデザイン推進方針」を令和6年3月に策定しました。

これまでは市の提案に対して協議会から意見や提言をいただいていたまいりましたが、今後は推進方針を事業化する段階になります。

ハード面の整備主体「つくる」側の行政のみでなく、完成後の「つかう」側の運営主体（＝民間の担い手の皆様）が、計画段階からアクションプラン作りや社会実験の検証に関わることで、官民で将来像を共有し、これからの地域の価値を、持続的に生み出し続けることを目指しています。

そのため、官民の新たな推進体制として、各復興事業の総括的な意思決定機関となる「復興まちづくり推進会議」と、実際の事業間連携や民間事業化支援を担う「復興まちづくりデザイン会議」を設置しました。



◆8月20日「第1回復興まちづくり推進会議」開催

各種団体の代表者や学識経験者などが出席。復興まちづくりの推進体制や、各会議の設置要項案について審議しました。

◆8月21日「第1回復興まちづくりデザイン会議」開催

グランドデザインの進め方や、中川原公園、青井神社周辺の利活用など各事業の進捗状況について説明があり、活発な意見交換が行われました。

今後は、市民の皆様との意見交換会や、各事業者とのワークショップを開催し、アクションプランの策定、グランドデザインの具現化に向けて取り組みを進めます。

問合せ先 人吉市復興支援課
電話：22-2111(内線3115)



◀「人吉市まちなかグランドデザイン推進方針」について、詳しくはこちらをご覧ください。



◀「人吉市復興まちづくり推進会議・デザイン会議」についてはこちらをご覧ください。今後も情報を随時追加していきます。